

平成27年度岡山ESD推進協議会
岡山ESDプロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 岡山市犬島地区を拠点とした次世代型ESD教育プログラムの
開発 PART-3

団体名 公立大学法人 岡山県立大学 デザイン学部 担当者名 森 下 眞 行

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

小学生（3，4年）を対象としたESD(持続可能な社会に向け行動する人材の育成)ワークショップ「いぬじま探検隊 PART-2」を岡山市の犬島自然の家で開催した。森下眞行研究室を中心にデザイン学部の学生 12 名が参加し，企画から運営までをトータルに担当した。台風 15 号の影響による犬島連絡船の欠航で，1泊2日の予定を急遽日帰りプランに変更したため，実施できなかったワークショップの一部を，追加計画として別日程で実施した。

事前調査

- ・日 程： 平成27年5月5日（火）AM11:00～PM6:00
- ・場 所： 岡山市立犬島自然の家（岡山県岡山市東区犬島 119-1）
- ・スタッフ：岡山県立大学デザイン学部学生7名，教員1名
- ・実施内容：ワークショップの事前調査

ワークショップ「いぬじま探検隊 PART-2」

- ・日 程： 平成27年8月24日（火）AM8:00～PM7:00
- ・場 所： 岡山市立犬島自然の家（岡山県岡山市東区犬島 119-1）
- ・参加者： 10名（総社市内小学生9名，保護者1名）
- ・スタッフ：学生14名，教員2名
- ・実施内容：ワークショップ① 島内探検（3チーム）
ワークショップ② ごみ拾い（海岸）
ワークショップ③ お宝発見（海岸）



島内探検

ごみ拾い

追加ワークショップ「鬼風揚げ」

- ・日 程： 平成28年2月14日（日）PM2:00～5:00
- ・場 所： 旧堀和平邸（岡山県総社市総社2丁目 5-20）
総社宮境内（県総社市総社 2-178-1）

- ・参加者： 8名（募集 10名）
- ・スタッフ： 岡山県立大学デザイン学部学生 8名, 教員 1名
- ・実施内容： 1) 温羅伝説の読み聞かせ
2) 鬼のお絵描き
3) 凧の組み立て
4) 凧揚げ（総社宮境内）



凧の組み立て



凧揚げ

ESD プロジェクト活動報告交流会参加

- ・日 程： 平成 28 年 2 月 21 日（日）PM13:15～15:45
- ・場 所： 第一セントラルビル 1 号館 9 階大ホール（岡山市北区本 6-26）
- ・参加者： 2 名（教員 1 名, 学生 1 名）



イオンモール岡山 1 階「未来スクエア」



活動報告交流会

2. ESD の視点を取り入れたところ, ESD の視点で見直したところ

本事業での ESD の視点としては、活動全体を通じて、スタッフや参加者に身につけてほしい知識や能力、姿勢として、以下のような 3 つの目標を第 1 回より設けている。

1. 瀬戸内海の離島の歴史や文化を学びながら、未来とのつながりを考えられる力。
2. 離島の現状と課題を学びながら、自らの生活や地域社会との関係性と結び付けて考えられる主体的な力。
3. 体験を通じて得た自らのライフスタイルや価値観の意識や行動の変化、変容を拡散できる力。

「いぬじま探検隊 PART-2」では、「環境問題」や「自然の大切さ」に焦点を当てたワークショップを目指した。コンセプトは、「子どもたちを未来の地球を救うアースセイバーに成長させること」とした。そのため、「自然と直接触れ合う機会を与えること」、「瀬戸内海のごみ問題について知ること」、「銅の精錬による犬島の公害の歴史について知ること」を、ワークショップの要件として考え、ストーリーやミッションを考えていった。

具体的な ESD の視点としては、

- ・ MISSION1「場所探し」；自然を観察する力，チームとして人と協力する力を養う。
- ・ MISSION 2「ごみ拾い」；離島の環境問題（漂着ごみ）を体験的に学習し，主体的に解決出来る力を養う。
- ・ 新企画「キャンドルナイト」；エネルギーについて学び，地域の問題を知る機会を与える。
- ・ MISSION 3「風づくりと風揚げ」；自然を相手に遊び，未来について考える力を養う。
- ・ FINAL MISSION「お宝発見（森のケモノ）；自然を感じ，未来を託す力を養う。

以上のミッションを楽しみながら達成することで，参加した子どもたちが，このままでは持続発展が不可能である地球や地域の問題について知り，解決するための行動を促すことを主な目的とした。

3. 取組の成果（参加者の変化，感想など）

今年度のチームは，昨年度の「いぬじま探検隊 PART-II」メンバー（8名）が残っていたため，若干の新スタッフを加えて総勢 14 名になった。また，参加者も昨年度のワークショップに参加したリピーターが多く，ワークショップ全体を通じて，学生スタッフとの交流も活発であった。しかしながら，台風 15 号の影響による犬島連絡船の欠航で，1泊2日の予定を急遽日帰りプランに変更したため，ワークショップの一部しか実施できなかったことは，参加した小学生のみならず，長期間準備してきた学生スタッフにとっては，目標とした達成感を得ることは出来なかったのではないだろうか。

以上のことから，実施したミッションを通じて，取組みの成果（感想）をまとめると，

- ・ MISSION の「場所探し」「ごみ拾い」での子どもたちの感想からは，犬島は，「おじいちゃん，おばあちゃんしかいない」，「生きものがいっぱいいる」，「貝殻や海がいっぱいある」，「海がきれい」，でも「ごみもいっぱい」など，子供達なりに離島の現状を知り，自然を観察する力と同時に環境への問題意識を養えたと思う。
- ・ 「ごみ拾い」については，学生たちも瀬戸内海の島は日本海と比べて漂着ごみは少ないと考えていたが，想像以上に漂着ごみが多く，用意した特製のごみ袋はあっという間に一杯になった。「ごみ拾い」は環境的側面だけでなく，社会的側面も強く，その行動は社会貢献でもある。

さらに，追加で実施した「風揚げ」は岡山県立大学デザイン学部の学生グループによる地域連携企画「ルーフ」のワークショップとして実施した。「ルーフ（屋根）」は，総社に伝わる歴史文化の伝承と学生と地域住民との交流を目的にした「アートによる持続可能な街づくり」を行うプロジェクトである。「いぬじま探検隊」に関わった学生が何人かいることから，8月に実施できなかった「風揚げ」ワークショップに協力してもらった。

「いぬじま探検隊 PART-2」に参加した小学生たちにも声をかけたが，残念ながら参加者はなかった。学生スタッフの声をもとに成果をまとめると，風揚げをする機会がない子どもたちに楽しんで体験してもらえたことは，「いぬじま探検隊 PART-2」で目的とした「地域・自然・未来」について考える機会を提供できたのではないかと

4. 今後の課題と展望

今後の課題としては，昨年同様に「いぬじま探検隊」の推進役となった 4 年生が卒業するため，次年度以降もこの事業をいかに持続可能な活動としてゆくかです。そのため，ESD サークルのような学生グループを立ち上げ，卒業後も活動が学生主導型で進めていけるように働きかけを行いたい。今後の展望としては，次年度より本学が知（地）の拠点として地域密着型の教育方針を重点的に推進することから，本事業についても，一教員としての活動から，教育活動の一部として位置づけていくことです。

いぬじま 探検隊

このプロジェクトは、岡山県立大学の地域貢献活動の一環として、小学生を対象に犬島でのESDワークショップ（1泊2日）を通じて、瀬戸内海の離島環境の課題や魅力について考える場を提供することを目的としています。

ワークショップを通じて参加者に身に付けてほしい力は、3つです。

1. 瀬戸内海の離島の歴史や文化を学びながら、未来とのつながりを考えられる力。
2. 離島の現状と課題を学びながら、自らの生活や地域社会との関係性と結び付けて考えられる主体的な力。
3. 体験を通じて得た自らのライフスタイルや価値観の意識や行動の変化変容を拡散できる力。

01. 島内探検

古びた地図を持って子どもたちに考えしてもらいながら島内を回っていきます。虫や蟹、植物など、犬島の様々な豊かな自然と触れ合います。

いぬじま探検隊 Part1,2



02. 地図作り

全員で一つの大きな島の地図を作ります。島内探検で拾った貝殻やシーグラスなどをちりばめた美しい作品となりました。

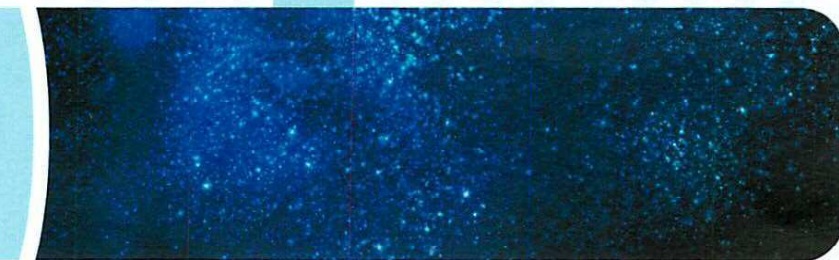
いぬじま探検隊 Part1



03. 天体観測

夜は、犬島自然の家の上にある天体望遠鏡を使って天体観測をします。犬島では明かりが少ないため、肉眼でも星がはっきりと見えます。

いぬじま探検隊 Part1



04. 海岸清掃

みんなと犬になるごみ袋を使って、楽しく海岸の清掃を行います。自然豊かな島が、清流ごみによって汚染されている現状を学びます。

いぬじま探検隊 Part,2



05. 宝探し

自然の中に隠した宝を、いくつかのヒントの中から探していきます。宝箱の中には、環境問題へのメッセージが込められた宝が入っています。

いぬじま探検隊 Part1,2



これまでの活動の記録

【ESD 活動団体紹介】 <http://www.okayama-tbox.jp/esd/pages/4109>

【ESD in 三重 2014】 <http://www.gecer.mie-u.ac.jp/topics/esdin2014esd.html>

問い合わせ先

公立大学法人岡山県立大学 森下眞行研究室
morisita@dgn.oka-pu.ac.jp





この夏は、犬島で大冒険だ!

いぬじま

探検隊

PART2

2015年8月24.25日

(PART1は2014年8月26.27日に実施しました。)

犬神様からのSOSを聞きつけた調査団の一員として、ミッションをクリアしながら犬島を救い出す冒険型ワークショップ。デザイン学部生が体験型のプログラムを準備しています。夏休みの宿題のお手伝いもしちゃいますよ。
内容：犬島の探検、ゴミ拾い、凧揚げ、森のけもの、キャンドルナイトなど



犬島

宿泊施設：岡山市犬島自然の家
(住所：岡山県岡山市東区犬島 119-1)



申し込み方法

✉ inujima.esd2@gmail.com



0866-94-2053

(研究室番号のため、常時対応が出来ない場合がございます。ご了承ください。)

上記メールアドレスまで、以下の情報をご記入の上、お申し込みください。

〔保護者の氏名(ふりがな) / 住所 / 電話 / E-mail / 参加 or 不参加〕
〔子供の氏名(ふりがな) / 性別 / 学年 / 学校名〕



募集対象

小学3～4年生とその保護者

※小学生1名につき、保護者の参加は1名まで



募集人数

10名(定員になり次第、締め切り)



申し込み期間

7月1日(月)～8月13日(木)

申し込み頂いた方には、後日詳しい資料を送付致します。



参加費

小人3500円 大人4000円

(総社・岡山から犬島までのバス・フェリー代、宿泊費、一日目夕食と二日目朝食・昼食代、材料費、保険料込)



Facebookにもどんどん情報をUPしていきます。ぜひ見てね!
Facebook「いぬじま調査団」で検索!